

プロが使う計測制御コンピュータ LabVIEWのホビー版誕生!

ご購入はこちら

宮村 智也

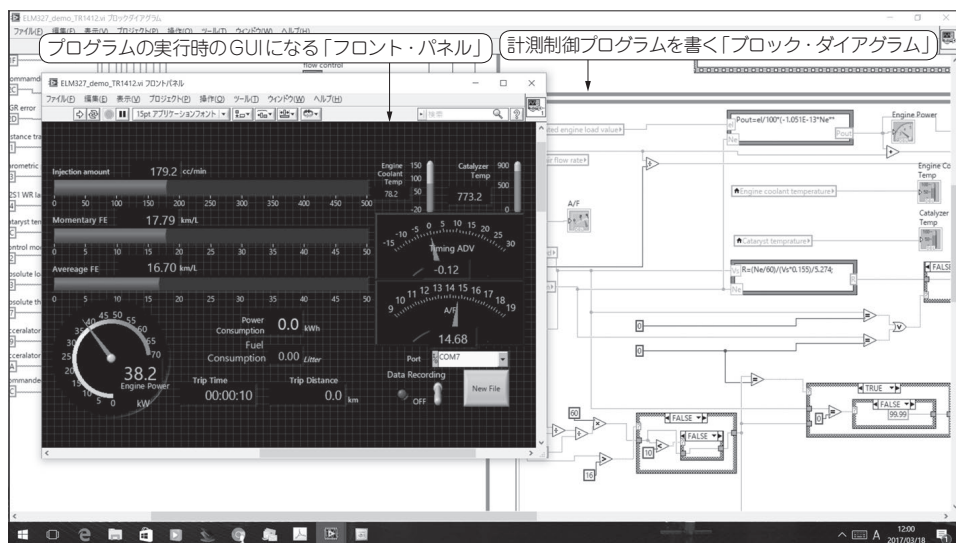


図1 プロが使う計測制御プログラミング&実行環境 LabVIEW

操作GUI「フロント・パネル」と、プログラミング環境「ブロック・ダイアグラム」で構成される

GUI操作のリアルタイム計測・制御用コンピュータが作れる統合プログラミング&実行環境 LabVIEW (米国ナショナル・インスツルメンツ社) は、工業用途や教育・研究用途で使われてきました。価格は、普通に購入すると約20万円はかかります。個人で試すのは従来、簡単ではありませんでした。

しかし最近、非商用に限定された個人向けライセンス (40万円版フル機能) も約6,000円で提供されるようになりました。小型PCと組み合わせれば、ちょっとした個人用の計測・制御コンピュータを作ることが可能です。本章と次章では、個人向けLabVIEWや、それを使った調理コンピュータ作りを紹介します。IT燻製作りに挑戦します。(編集部)

プロが使う計測制御用ソフト LabVIEWにホビー版

● 計測・制御のプロが使う高額の花LabVIEW

科学技術・工業用の計測/制御用プラットフォームとして利用されている統合プログラミング環境に

ラビビュー
LabVIEW (米国ナショナル・インスツルメンツ社, NI) があります (図1)。見栄えの良いGUIアプリケーションが比較的短時間で作れることから、学校などの教育現場から企業の研究開発現場まで、広い分野で使われています。

そんなLabVIEWですが、ちょっと前までは個人でホビー用として利用するには、最低でも17万円程度かかり、価格の面で大変ハードルの高い存在でした (学生であれば、LabVIEW Student Editionを4,320円で利用できる)。試用版もありますが、期限付きのため、ちょろちょろ使ってみるという程度でした。本格的に取り組むにはそれなりの「覚悟」が必要でした。

● なんと秋月で買える「ホビー版」LabVIEW登場

そんなLabVIEWに、昨今のメーカーズ・ムーブメントの影響でしょうか、2015年から非商用での利用に限定したLabVIEW Home Bundleが提供されています。しかし、LabVIEW Home Bundleは、日本ナショナル・インスツルメンツから直接販売はされてお